

〈ひろぎんグループ〉 SDGs/ESGへのこれまでの取組み

2020年 6月



SDGs宣言・外部からの評価	・・・P.2
SDGs/ESGへのこれまでの取組み	・・・P.3
環境保護への取組み	・・・P.4
地域社会・産業の活性化に向けた取組み	・・・P.5
地方創生の実現に向けた取組み	・・・P.6
地域貢献活動・健康経営等への取組み	・・・P.7
コーポレート・ガバナンス体制(持株会社体制移行後)	・・・P.8

SDGs宣言・外部からの評価

- ◆ 当行が付加価値の高い金融サービスの提供を通じて、地域の課題解決と持続的な成長に貢献していくことを対外的に発信するため、SDGs宣言を2019年9月に公表
- ◆ 当行の取組みが評価され、MSCI ESG格付けは、昨年から1ノッチ上昇し、「BBB」の評価を獲得

〈ひろぎんグループ〉SDGs宣言

〈ひろぎんグループ〉は、国連において採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、付加価値の高い金融サービスの提供を通じて、地域の社会・環境課題の解決と持続的な成長に貢献してまいります

取組み

対応するSDGs



ESG指数構成銘柄への採用



MSCI 日本株女性活躍指数（WIN）

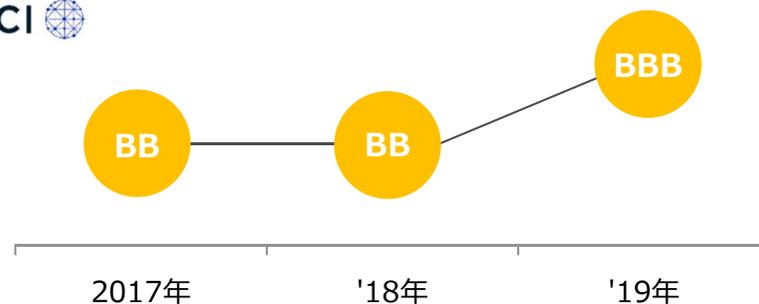
- 性別多様性に優れ、将来的な労働力不足に耐える企業を選定



S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数

- 環境情報の開示を十分に行い、炭素効率性の高い企業を選定

MSCI ESG格付け※の推移



MSCI社によるESG格付けにおいて、当行の取組みが評価され、昨年から1ノッチ上昇し、「BBB」の評価を獲得

※ MSCI ESG 格付け
 MSCI社が企業のESGリスクの度合いと、これらのリスクの管理状況を基準に「AAA」から「CCC」の尺度で評価するもの

SDGs/ESGへのこれまでの取組み

◆ <ひろぎん>グループは、地域のリーディングバンクとして、これからも本業を通じて、地域経済の持続的成長に貢献することはもちろんのこと、社会貢献や環境保全等、あらゆる面で積極的に行動し、全てのステークホルダーからの信頼を勝ち取り、存在価値を高めることを目指してまいります

	～2015年	2016年	2018年	2019年	2020年～
全 般				<ul style="list-style-type: none"> ・2019年7月 統合報告書を発行 ・2019年9月 <ひろぎんグループ>SDGs宣言の公表 	
環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・2010年～ ひろぎんの里山植樹・整備活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・2018年～ S&P/JPX カーボン・ エフィシエント指数に選定 	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年2月～ 無通帳口座 スマートe取扱開始 ・2019年2月(2020年3月) 健康経営優良法人に選定 	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年3月 TCFD提言への賛同を表明 ・2021年1月(予定) 新本店竣工
社 会		<ul style="list-style-type: none"> ・2016年4月 せとうちDMOへの参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年2月 私募REITの組成 	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年5月 広島オープンアクセラレーターの 募集開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年1月 SDGs取組支援サービスの 取扱開始
		<ul style="list-style-type: none"> ・2017年～ MSCI日本株女性 活躍指数に選定 	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年10月 瀬戸内ブランドコーポレーション がヒルトンホテルの運営受託契約 を締結 	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年9月 グリーンボンドへの投資 ・2019年9月 ESG金融促進事業への採択 	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年4月 広島大学等が認定する ファンドへの出資
ガ バ ナ ン ス	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年6月 社外取締役(女性)1名選任 取締役会の員数削減・任期1年化 ・2015年12月 報酬・指名諮問委員会の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016年6月 社外取締役1名増員 	<ul style="list-style-type: none"> ・2017年6月 取締役・執行役員に対する 株式報酬制度の導入 		<ul style="list-style-type: none"> ・2020年10月(予定) 持株会社体制へ移行



◆ 行内における環境負荷軽減及び環境保護の取り組みに加え、金融業務を通じた環境保護への取り組みも積極的に実施

TCFD提言への賛同

気候変動に関する対応強化及び気候関連のリスク・機会に関する情報開示の充実に向け、賛同を表明



TCFD※提言とは

TCFDが2017年6月に公表した投資家が企業の気候関連リスク・機会を適切に評価するための開示フレームワーク

※ Task Force on Climate-related Financial Disclosures
気候関連財務情報開示タスクフォース

環境配慮型の新本店ビルの建設

新本店ビルは、自然換気効果を高めたエコボイドを設置し、テラス・屋上等を緑化する等、最新の環境技術を活用した環境配慮型のビルとする



2021年1月完成予定

【その他建物の主な特徴】

- 建物エントランス部分へのピロティ空間の設置
- 原爆物故者慰霊碑の設置
- 建物の免震化・非常用発電機用燃料の確保 (避難場所として活用)

「ひろぎんの里山」における植樹・整備活動

郷土の豊かな自然環境の保護に向け、「ひろぎんの里山」において、役職員による苗木の植樹・森林整備活動を実施



地方銀行64行が加盟する「日本の森を守る地方銀行有志の会」に設立当初から参加

本業を通じた環境保護への取り組み

① グリーンボンドへの投資

独立行政法人 住宅金融支援機構が発行する「住宅金融機構グリーンボンド」の購入

⇒ 「省エネルギー性能の高い住宅」の更なる普及に寄与



住宅金融支援機構
Japan Housing Finance Agency

グリーンボンドとは

再生可能エネルギーの活用や省エネルギー性の向上といった環境改善効果のある事業の資金を調達するために発行される債券

② ESG金融促進事業への採択

環境省が実施する「地域ESG融資促進利子補給事業」の指定金融機関ならびに「地域におけるESG金融促進事業」の支援先機関として、採択

地域ESG融資利子補給事業

地元企業のESGへの取り組み及び環境分野への投資の支援・促進を実施

⇒ <ひろぎん>エコ・ハーモニー(ESG利子補給制度利用プラン)取扱開始

地域におけるESG金融促進事業

自動車関連サプライヤーに対するESG要素を考慮した事業性評価の導入を検討

③ <ひろぎん>無通帳口座「スマートe」

通帳不発行の口座を展開し、ペーパーレス化を促進



- ◆ 地元企業のSDGsへの取組みに対する積極的な支援や県内における新たな事業創出による地域産業の活性化に取り組む等、持続的な社会の実現に向けた取組みを実施

地域のSDGsへの取組促進支援

① SDGs取組支援サービスの取組開始

お取引先のSDGsへの取組状況を確認し、その結果をフィードバックご希望に応じて、取組内容を対外公表



お取引先の
“SDGs宣言”
の策定を支援

取扱件数
(2020年1月～5月実績)

54件

② 銀行保証付私募債(SDGs型)の受託

私募債発行額の0.2%以内で、地域社会への貢献を目的とした寄付・寄贈や発行企業のSDGsの取組みに係るPRを実施

取扱件数/金額
(2019年11月～2020年5月実績)

42件/約51億円

③ SDGsハンドブックの作成・配布

従事者のSDGsの知識習得に加え、お取引先への配布を通じて、地域に対するSDGsの啓蒙を実施

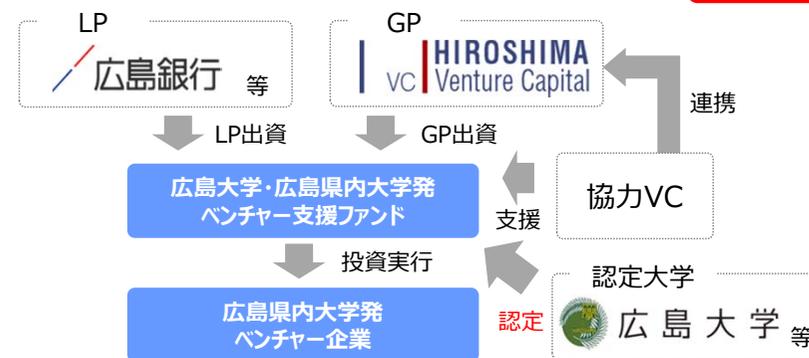


地域に対するSDGs
の啓蒙を実施

広島大学初の認定ファンドへの出資

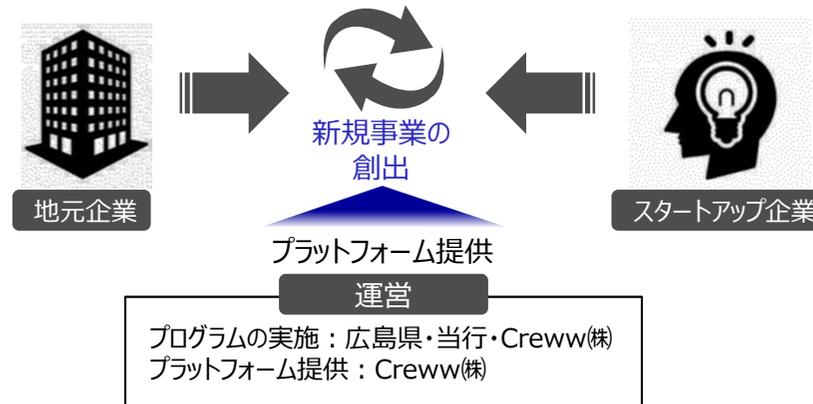
広島大学をはじめとして、広島県内の大学が有する研究シーズを起点とするベンチャー企業を支援するファンドへの出資

広島大学初認定ファンド



広島オープンアクセラレーターの開催

広島県内企業の経営資源と全国のスタートアップ企業のサービスを結びつけるオープンイノベーションによる参加企業の新規事業創出を目的とした取組み



- ◆ 自治体や観光事業者と連携した主体的な観光振興に対する取組みを通じて、観光産業活性化に貢献
- ◆ 私募REITの組成や本店建替えプロジェクト等を通じて、都市再開発を積極的に支援

観光産業活性化への取組み

① せとうちDMO※への参画



クルーズ船の造船や、古民家の宿泊施設等への改修等、観光関連事業者のプロダクト開発や事業拡大等を支援

瀬戸内地域の観光産業活性化に向け、連携を強化

※DMO・・・観光地を活性化させ、地域全体を一体にマネジメントしていく法人

② 世界的に有名なブランドホテルの誘致



当行が出資・人員派遣を行う瀬戸内ブランドコーポレーションがヒルトンホテルを誘致

中四国初となる「ヒルトン広島」は2022年度開業予定

③ 地域商社事業への参画



地域特産品の販売に留まらず、域内ヒットを誘致する施策を展開する地域商社事業へ参画し、地域経済活性化に貢献

「広島市平和公園レストハウス」の管理運営を広島市より受託する等、新たな事業を展開中

都市再開発支援への取組み

① 私募REIT※の組成



地元の再開発対象不動産や建替物件を投資対象とした私募REITを組成

REIT運用子会社を地銀として初めて設立

※私募REIT・・・機関投資家や金融機関等を対象としたプロ向けの不動産投資信託

② 地域不動産開発向けファイナンス



市街地開発案件に対する積極的な関与を通じた官・民ニーズへの対応

「都市再生緊急整備地域」に認定された広島八丁堀・紙屋町地区の再開発を支援

③ 広島銀行本店建替えプロジェクト



広島都心活性化に向け、イベントスペース・カフェを設置する等、地域の方が集まり、使っていただける“にぎわいの場”を創出

民間都市再生事業計画として認定

- ◆ 広島を代表するスポーツチームを支援するとともに、広島交響楽団等の活動支援を実施
- ◆ 従事者がイキイキと働き続ける環境と職場風土の醸成に向け、健康経営・ダイバーシティを推進

地域スポーツ・文化活動の支援

① 公益財団法人 ひろしま美術館

「ひろしま美術館」を運営し、数多くの絵画を展示する等、芸術情報の発信を通じた文化振興へ積極的に取組む



② 広島交響楽団

「<ひろぎん>トウモロウコンサート」等を開催する等、活動支援に取組む



③ 広島東洋カープ・サンフレッチェ広島

地元企業合同での応援観戦や、スポンサード・ゲームを開催する



『健康経営優良法人2020』に選定

昨年に続き、『健康経営優良法人2020(ホワイト500)』に選定

【主な取組み】

□ 健康保持・増進への取組み

喫煙者の各種ガン等の発症抑制等を企図した「禁煙費用補助制度」の新設や対象年齢に達した従事者の人間ドック費用を全額負担する「達齢者人間ドック制度」の実施

□ 明るく働きがいのある職場づくり

時間外勤務を前提としない働き方の実現を始めとした「働き方改革」関連施策の実施

□ 地域社会への密着と貢献の推進

<ひろぎん>健康経営評価融資制度の提供等による地域企業における健康経営の普及の促進



健康経営優良法人2020(ホワイト500)とは

地域の課題に即した取組みや日本健康会議が進める健康増進の取組みをもとに、特に優れた健康経営を実践している企業を、日本健康会議が選定

女性のキャリアアップ支援

短時間勤務制度の改正等、両立支援制度を見直し、育児・介護中の従事者が主体的にキャリア形成を行なうことを支援

【女性管理職・監督職数の推移】



女性職員が前向きに上位職を目指すマインドを醸成するためのスキルアップセミナー・異業種交流会等も実施

- ◆ひろぎんホールディングスを監査等委員会設置会社とし、ガバナンスの強化・迅速かつ効率的な意思決定を図るとともに、経営管理・監督に特化させることにより、実効性の高いグループガバナンスの構築を実現する

持株会社体制におけるコーポレート・ガバナンス体制図

